

## 4. 計画の基本的な考え方

---

前回の計画策定後、国では、スポーツ基本法の制定や東日本大震災からの復興の歩みの中でスポーツの“ちから”が再認識されるようになりました。

また、千代田区においては、子どもの体力の向上など、これまでの課題に加え、高齢者の見守りなど地域のコミュニティに関する新たな課題も現れてきています。

こうした時代や社会の潮流と千代田区のスポーツを取り巻く環境、及び千代田区のスポーツの現況と課題を踏まえ、前回計画の基本理念を継承し、引き続き取り組みを進めていくこととします。

### 4.1 スポーツ振興の意義・目的

#### (1)スポーツの本来的意義

近年、健康づくり、地域づくり、そして絆づくりなど、スポーツがもたらす効用の側面に注目が集まっています。しかしながら、本来、スポーツを通して、人間が本源的な欲求や必要にもとづいて生み出された世界共通の文化です。スポーツを通して、人々が生理的な欲求から自己実現まで、様々な欲求を満たすことができるのも、この自発性にあります。

千代田区は、このスポーツの本来的意義を念頭に、区民のだれもが、スポーツを楽しめる文化を創出し、その文化を、未来へつなげます。

#### (2)スポーツの効用

スポーツの本来的意義に加えて、スポーツ文化が定着し、区民が日常的にスポーツを楽しむことによる効用を視野に入れ、スポーツの振興を図ります。これからの時代や社会におけるスポーツ振興は、体力向上や健康増進など身体に関することはもちろんのこと、青少年の健全育成など、心に関すること、あるいは、仲間づくり、地域コミュニティの活性化など、人と人とのつながりに関すること、また、活力ある生活や自由時間の充実といった、生活・暮らしに関する事など、多様な意義・目的が求められます。本計画では、「からだ」、「こころ」、「つながり」、「生活・暮らし」の4つの観点から、スポーツ振興の意義と目的を整理します。

#### ■「からだ」をはぐくむ

子どもの体力低下、高齢者の健康、生活習慣病などが課題となる中、スポーツには、からだを動かす機会を提供し、体力向上や健康増進を図る役割が求められています。特に、高齢社会を迎えるこれからの時代においては、高齢者の健康づくり、体力づくりに対する期待が高まります。

#### ■「こころ」をはぐくむ

いじめ、不登校、引きこもり、犯罪の低年齢化など、子どものこころの問題が社会問題となっています。また、ストレス社会を迎え、成人においてもこころの問題は重要です。

スポーツは、生きること、喜怒哀楽、成功・失敗などを体験する場であるとともに、スポーツマンシップに基づく礼節を学ぶ場でもあります。成人にとっては日々のストレスを忘れリフレッシュすること、子どもにとっては豊かなこころ、思いやりのこころを育むとともに、コミュニケーション能力や積極的に行動する態度などを養うことが期待されています。

#### ■「つながり」をつくる

千代田区では、町会を中心として、お祭り、イベントなどの地域活動に加えて、子ども・青少年に対する教育、安全、防災、福祉など、地域が様々な機能を担っています。スポーツは、地域の結びつきをより強くし、これらの機能を一層充実させるとともに、子どもの居場所づくり、高齢者の居場所づくりなどの役割も期待されています。

#### ■「生活・暮らし」に潤いを与える

人々が、物理的な豊かさよりもこころの豊かさを追求するようになり、スポーツは、生活、暮らしに潤いを与える役割が期待されています。自由時間の充実、生きがいづくりなどに対する期待が高まります。

## 4.2 計画の基本理念

スポーツ振興の意義・目的を踏まえ、本計画の基本理念を設定します。基本理念は、計画策定の基本となる考え方であり、スポーツ振興の実現により到達すべき千代田区の未来像です。

スポーツがはぐくむ、豊かな“こころ”と“からだ”。

スポーツがつなぐ、“ひと”と“地域”。

### 4.3 計画の基本目標

基本理念を実現するために、達成すべき基本的な目標を設定します。数値化が可能なものについては、数値目標を設定します。数値目標は、平成29年度までの目標値とし、達成状況を踏まえて、適切な評価を実施します。また、必要に応じて計画の見直しを行います。

#### (1) スポーツ実施率の向上

基本理念の実現のためには、まずは、日常生活の中で、多くの区民が、運動・スポーツを楽しみ、運動やスポーツの良い面を実感してもらうことが大切です。

また、自発的な活動を促すために、新たな運動観を提案し、区民の皆さんに運動習慣という視点から日常生活を振り返ってもらうことも大切です。

本計画では、区民の意識の変化を図るものとしてスポーツ実施率の向上を基本目標として掲げます。

#### (2) 区民のスポーツ活動を支える環境づくり

区民が日常的に運動・スポーツを行うには、機会、場所、組織、指導者など、様々なソフト、ハードの整備が必要となります。本計画では、区民のスポーツを支える環境づくりを基本目標として掲げます。

#### (3) スポーツを通じたコミュニティの活性化

スポーツには、健康・体力づくり、自由時間の充実など個人にかかる様々な効用とともに、人と人とを繋いでいく働きがあります。本計画では、スポーツを通じたコミュニティの活性化を基本目標として掲げます。

この基本目標を達成するため、以下の数値目標を設定します。

#### 数 値 目 標

- (1) 週1回以上、スポーツを行う成人の割合を60.0%にする。
- (2) 屋外スポーツの場を1箇所確保する。
- (3) スポーツ指導者人材バンクの登録者数を100名以上にする。